



中心市街地賑わい再生社会実験事業

「みんなのひろば」の取り組み

令和3年2月10日

松山市 都市デザイン課

説明内容

- ◆松山市の概要
- ◆社会実験の背景・目的
- ◆「みんなのひろば」とは
- ◆地元関係者との合意形成
- ◆社会実験の効果

◆松山市の概要

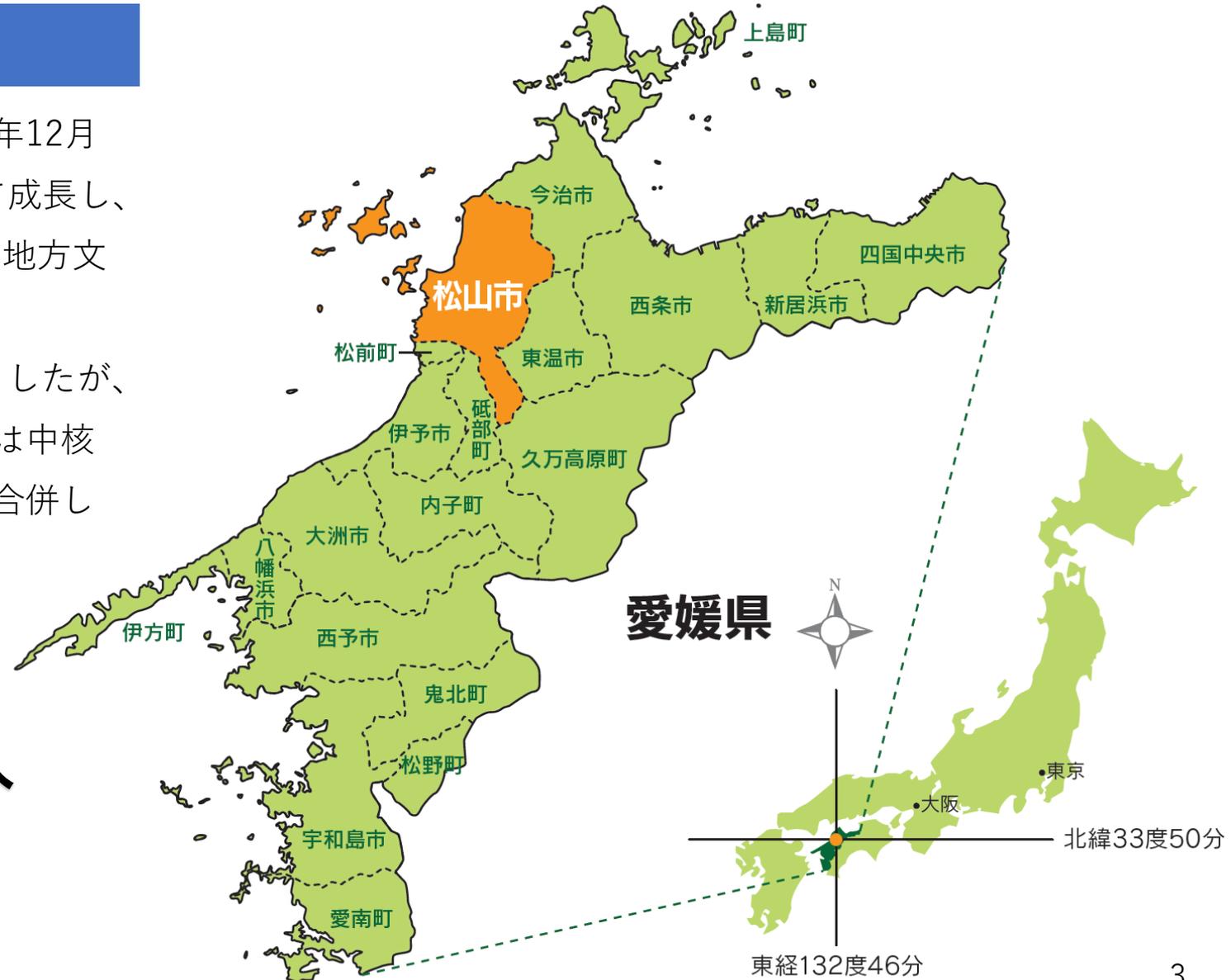
松山市のあゆみ

明治6年愛媛県庁が設置され県都となり、明治22年12月15日市制を施行以来、政治・経済の中心都市として成長し、俳人正岡子規をはじめ、多くの文人を輩出するなど地方文化の拠点としての役割を果たしてきました。

昭和20年、市街地の大部分を戦災により焼失しましたが、今日では総合的な都市機能を備え、平成12年4月には中核市へと移行し、平成17年1月には北条市・中島町と合併し四国初の50万都市となりました。

◆人口 507,085人
◆面積 429.35km²

(令和3年1月1日現在)



◆松山市の概要



松山城



道後温泉本館

道後温泉別館 飛鳥乃湯泉(あすかのゆ)

2017年12月 グランドオープン

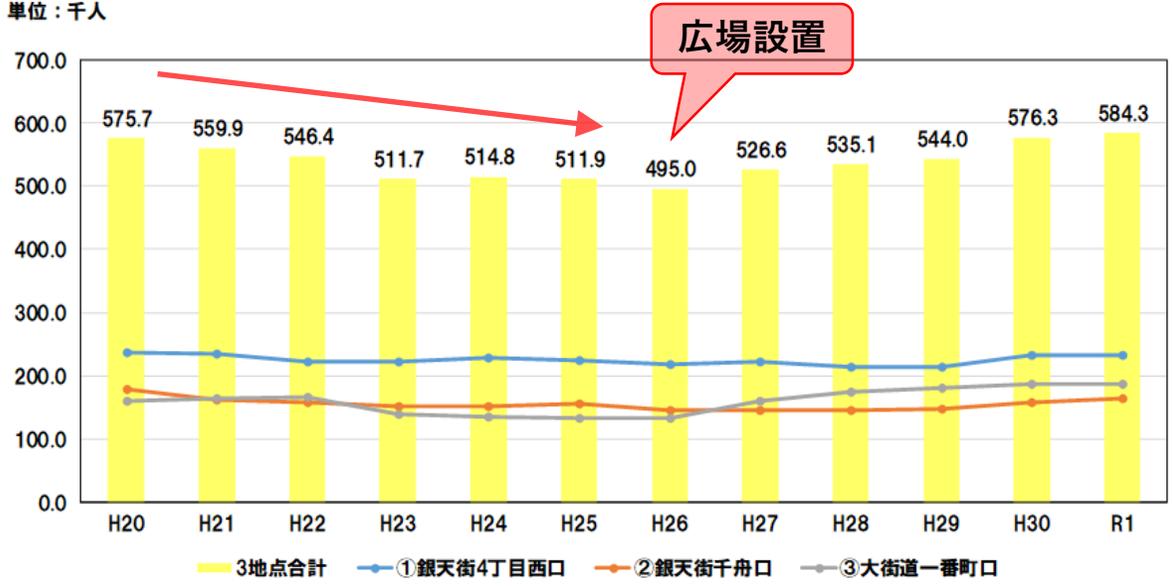


◆松山市の概要



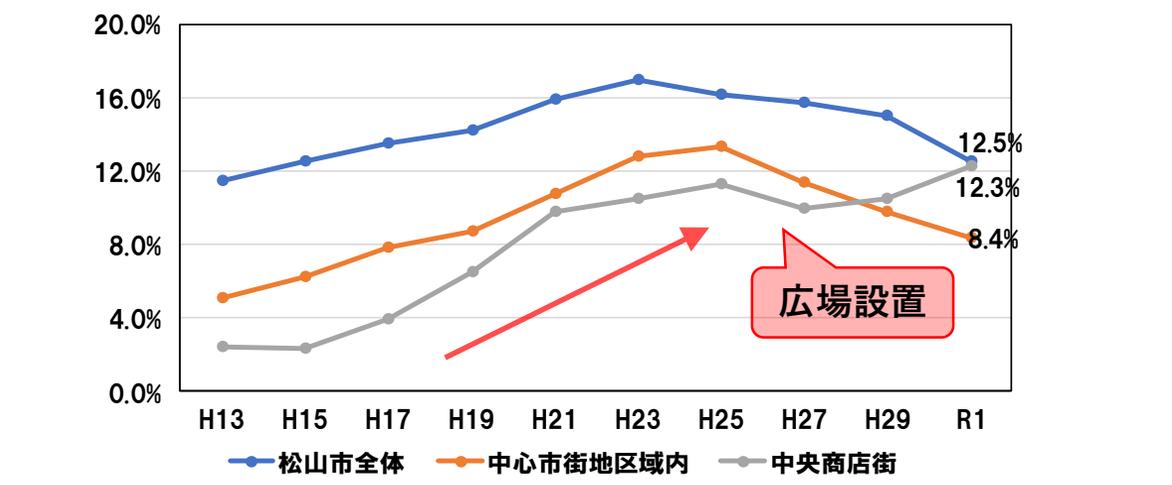
◆社会実験の背景

中央商店街の歩行者通行量、空き店舗率



銀天街（アーケード商店街）

松山市の中心市街地は、都市機能が集まる四国でも有数の街ですが、まちなかの空洞化にともなって、人々が街を回遊しなくなり、賑わいがなくなってしまうことが懸念されています。



◆社会実験の背景

市民ワークショップ（平成25年12月～）

中心市街地活性化をテーマに
市民ワークショップを開催しました。

参加者の意見

- ・まちなかに緑が少ない
- ・休憩場所がほしい
- ・まちをブラブラしなくなった

課題解決へ向けて、今あるものを活用

広場整備の検討スタート



市民ワークショップの様子

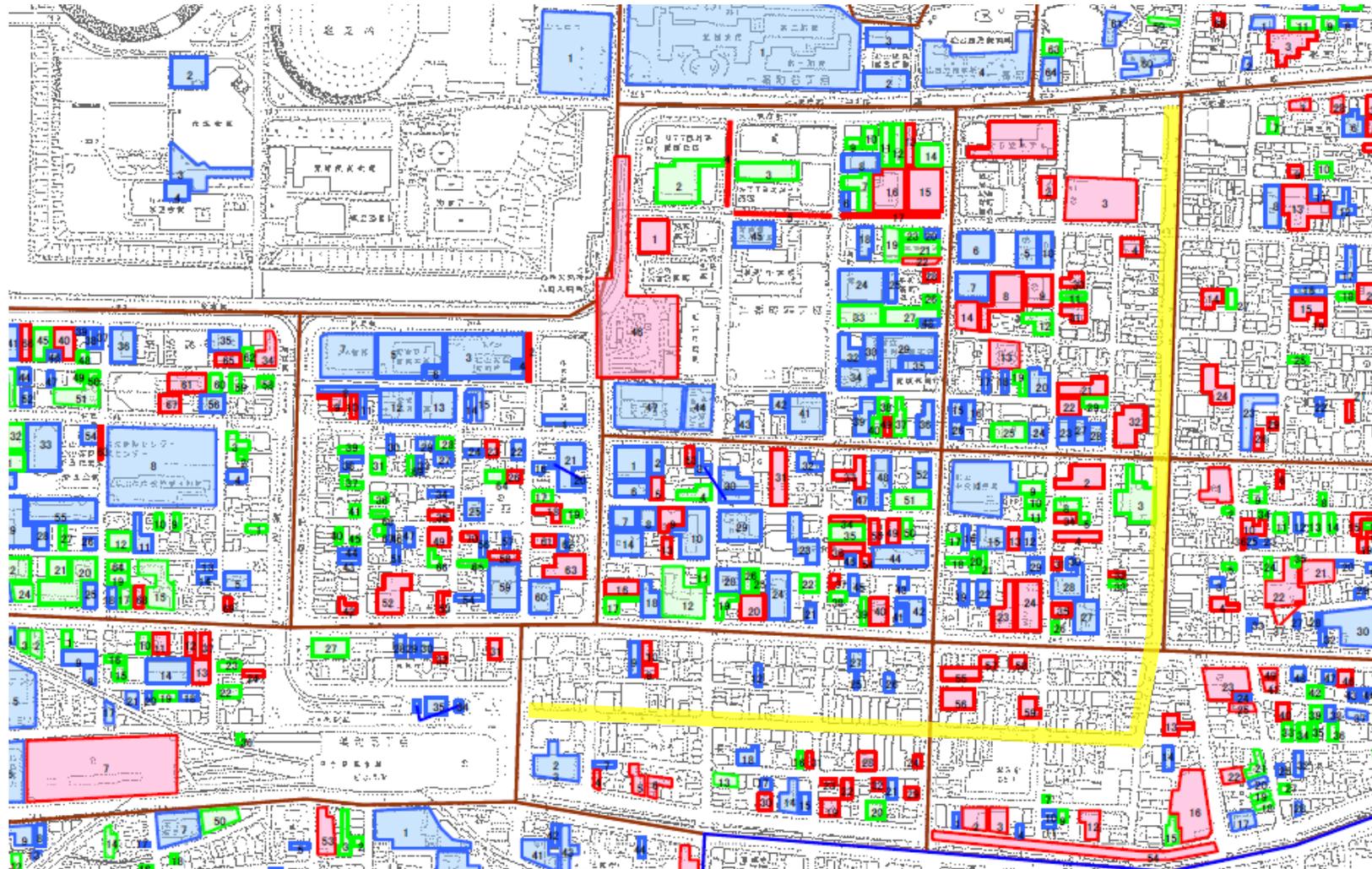
◆社会実験の背景

まちなかに点在する駐車場

まちなか駐車場の利用形態

凡例

- 時間貸し
- 月極め
- 専用



◆社会実験の目的

社会実験のねらい

まちなかの低・未利用地（青空駐車場や空き店舗など）を広場や交流スペースに転用



そこで様々なイベントを実験的に実施



以下の2つの観点から、効果を検証

- ・賑わい再生に向けた効果的・持続的な仕組み
- ・中心市街地の居住環境改善

◆ 「みんなのひろば」とは

社会実験の一環として、青空駐車場の広場化を行いました。



青空駐車場(整備前)



みんなのひろば(整備後)

◆ 「みんなのひろば」とは



みんなのひろば



もぶるテラス

◆ 「みんなのひろば」 とは

平日



朝、園児たちの遊び場



子連れ家族の遊び場



思い思いの時間を過ごす利用者



学校帰りの生徒が集まる場

休日



絵本の読み聞かせ会の様子



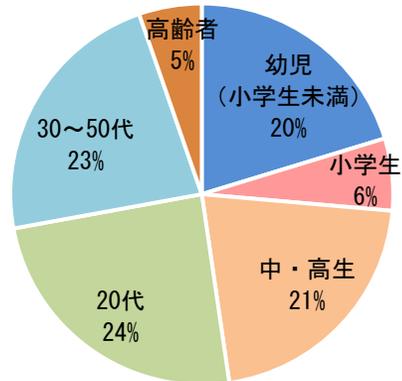
水遊び企画の様子



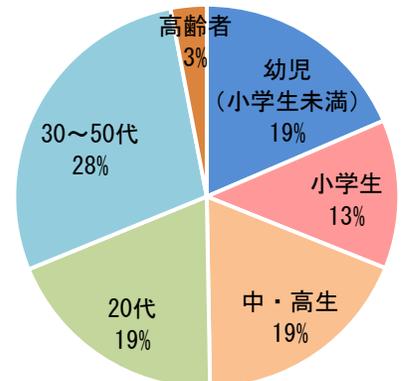
市民の憩いの場



音楽イベントの様子



利用者の世代
平日も休日も、
多様な世代に
利用されていました



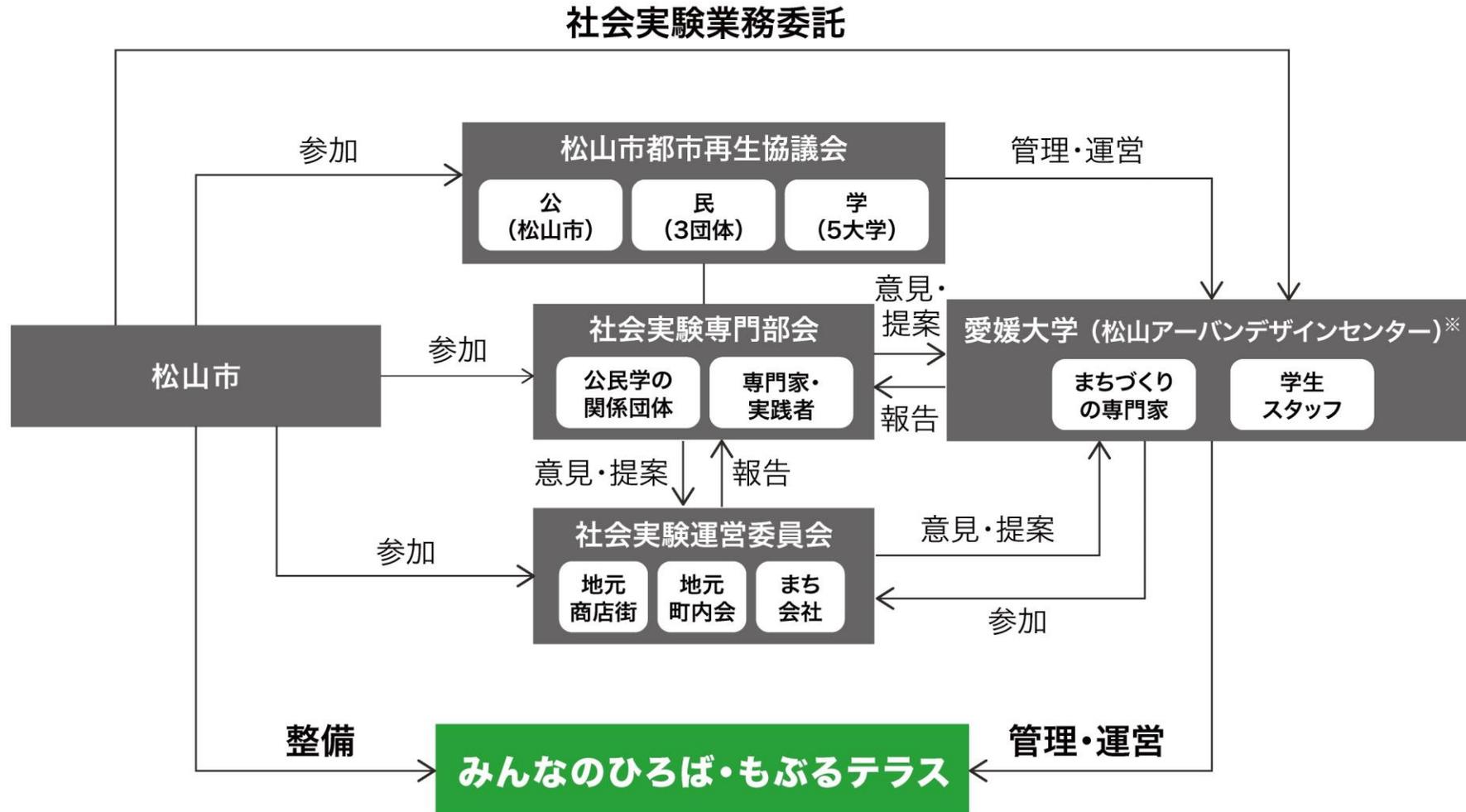
※少数点以下第1位を四捨五入しているため、構成比は100%にならない場合があります

◆ 「みんなのひろば」 とは

	みんなのひろば	もぶるテラス
運営期間	平成26年11月～平成31年1月	平成26年11月～平成30年11月
面積	約 370 m ²	約 80 m ²
設備	芝生広場、ミニ噴水、土管、 手押しポンプ、ベンチなど	イス・テーブル、ライブラリー、 多目的トイレなど
利用時間	月～金10:00～20:00／土日祝日10:00～18:00	
利用形態	一般利用・占有利用（無料）	
利用者数	延べ利用者数：約 22.8万人 約4,900人／月	延べ利用者数：約 9.1万人 約1,800人／月
外観		

◆ 「みんなのひろば」とは

専門家や地元と意見交換を行いながら、公・民・学が連携し、管理・運営をしました。



※ 管理・運営の受注者は、期間によって異なります。H26.11～H28.3は「復建調査設計・まちづくり松山共同事業体」、H28.4～H31.1（テラスはH30.11まで）は「愛媛大学（UDCM）」です

◆地元関係者との合意形成

場所の選定

1. 市民ワークショップでの検討

10か所の候補地の中から広場設置に相応しい土地について、市民目線で議論されました。

2. 松山市での検討

費用対効果などから、候補地の検討を行いました。

3. 専門家の意見

専門家に現地調査をしていただき、候補地について意見をいただきました。

◆地元関係者との合意形成

ワークショップ

広場に導入する機能や運営・管理の方法なども市民参加のワークショップで検討しました。また、芝張りやイスづくりなども行いました。

初めから作りこまず、実際に使いながら段階的に作りあげることをコンセプトに進めていきました。



芝張りワークショップの様子

権利者との調整

広場へ転用する駐車場は私有地であるため、権利者との調整が必要でした。広場開設の前年度から、権利者の方と期間や補償などの交渉を行いました。交渉の結果、借地という形で土地を提供していただけることになりました。

◆社会実験の効果

みんなのひろば

もぶるテラス

83 件

実施されたイベントの件数

865 件

35 件

そのうち、一般の個人・団体が実施した件数

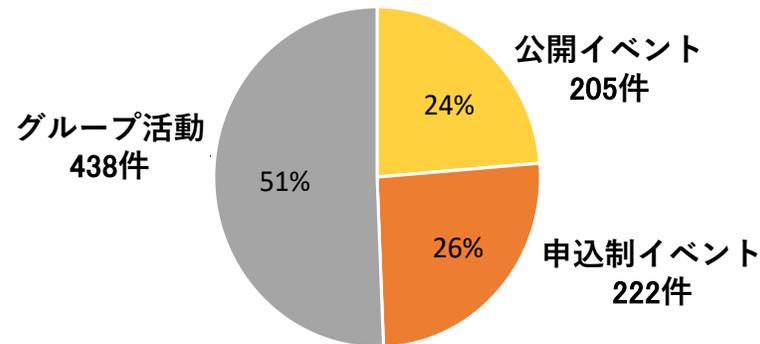
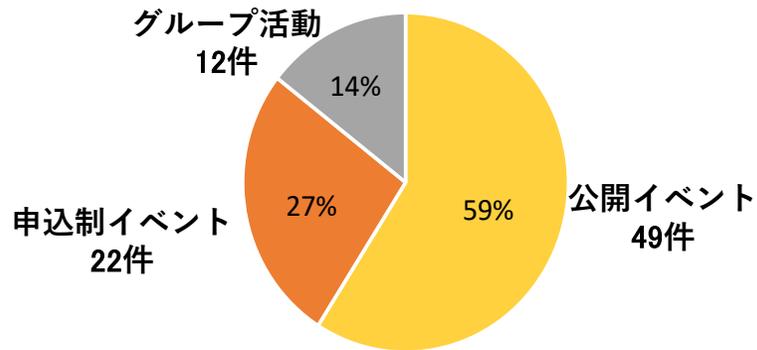
500 件

※これ以外は、社会実験事業の受注者が実施しています

約 2 件

イベント件数の月平均

約 18 件



※少数点以下第1位を四捨五入しているため、構成比は100%にならない場合があります

- 公開イベント：誰でも参加できるもの
- 申込制イベント：誰でも参加できるが定員制、又は事前申込が必要
- グループ活動：特定の団体・組織に属する人のみ参加できる



地場産品のマルシェ

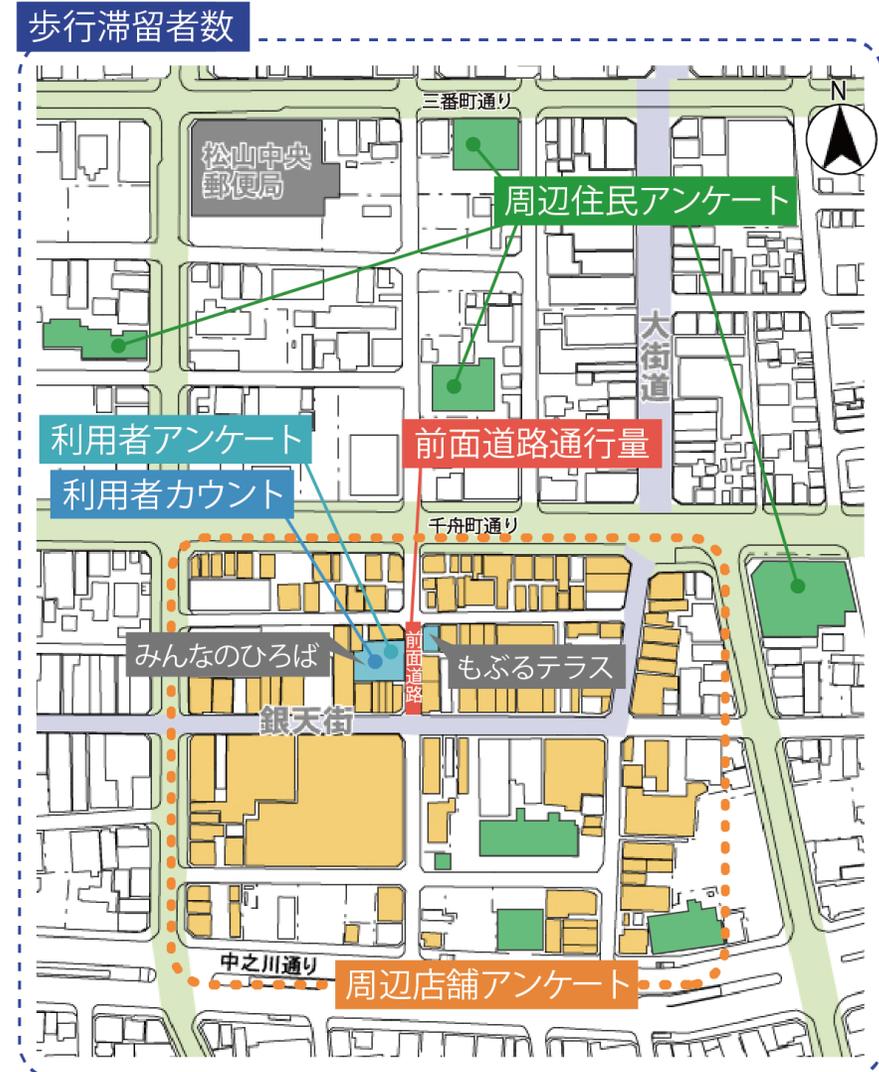


ご当地アイドルのライブ

◆社会実験の効果

ひろば・テラスの周辺を対象にアンケートや通行量の調査を行いました。

		効果を検証する方法	
		客観的評価	主観的評価
効果を検証する場所	みんなのひろば もぶるテラス	A. ひろばとテラスは、 どれくらい 利用されたのか？ 利用者カウント	B. 人々は、ひろばや テラスに価値がある と感じていたか？ 周辺店舗アンケート 周辺住民アンケート 利用者アンケート
	周辺エリア	C. ひろばやテラスが できて、周辺エリア はどう変化したか？ 前面道路通行量 歩行滞留者数	D. 人々のまちなかでの 行動や周辺の印象は どう変化したか？ 周辺店舗アンケート 周辺住民アンケート



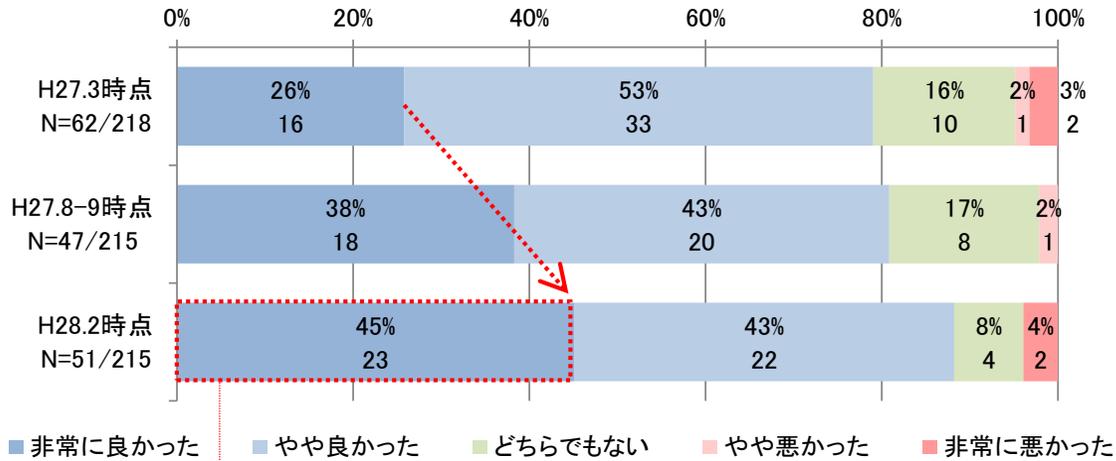
◆社会実験の効果

周辺住民アンケートのうち約5割が「ひろば・テラスができて非常に良かった」という回答でした。

ひろば・テラスともに「子育て世代がまちで過ごすために重要」との回答が多いです。

問. ひろば・テラスができてどう考えるか

資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H27.8-9、H28.2)

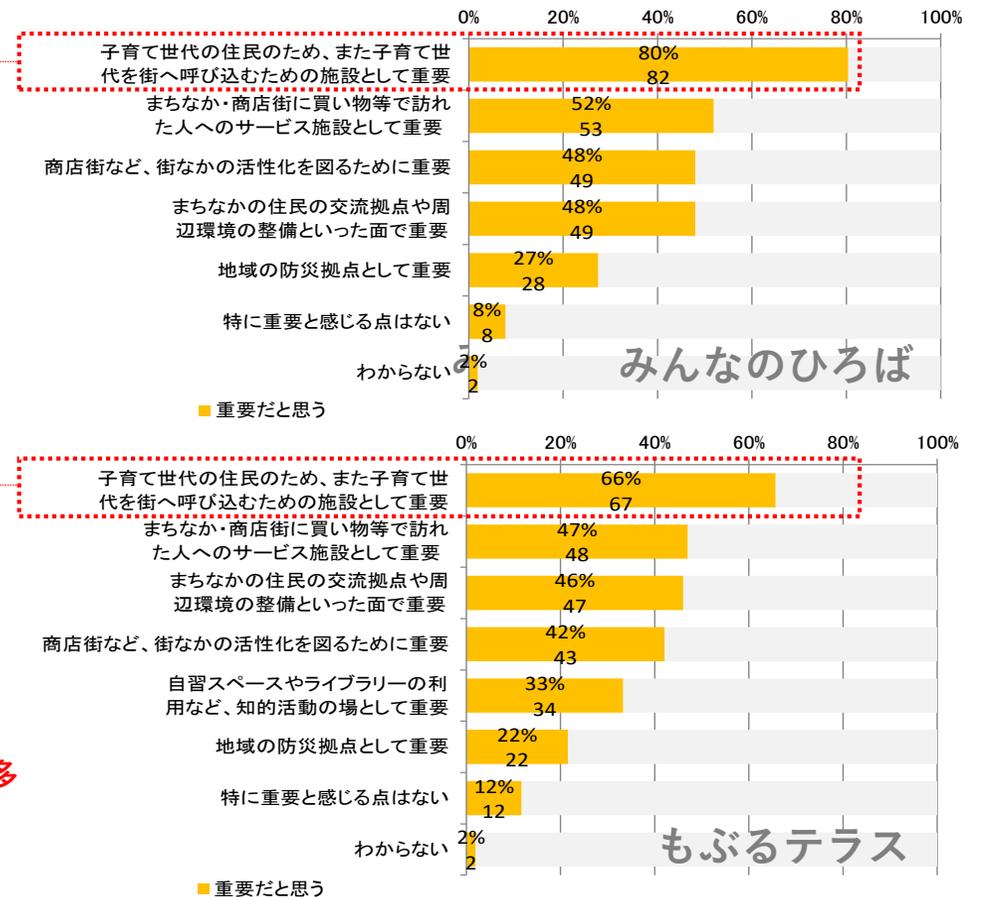


45%が「非常に良かった」と回答

「ひろば・テラスの意義」は、「子育て世代の住民のため、また子育て世代を街へ呼び込むための施設として重要」が最多

問. ひろば・テラスは、どのような点から重要だと思うか

資料/周辺住民アンケート調査 (H31.1-2)



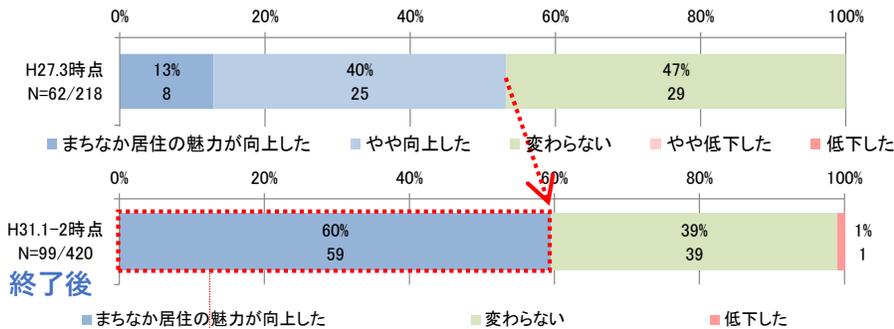
◆社会実験の効果

周辺住民アンケートのうち約6割が「まちなか居住の魅力が向上した」と回答し、「まちなかでの滞在時間」や「外出頻度」が増えたと感じた方の割合が約4年間で2倍以上に増えています。

問. ひろば・テラスがあることで、あなたのまちに対する行動や意識に変化はあったか

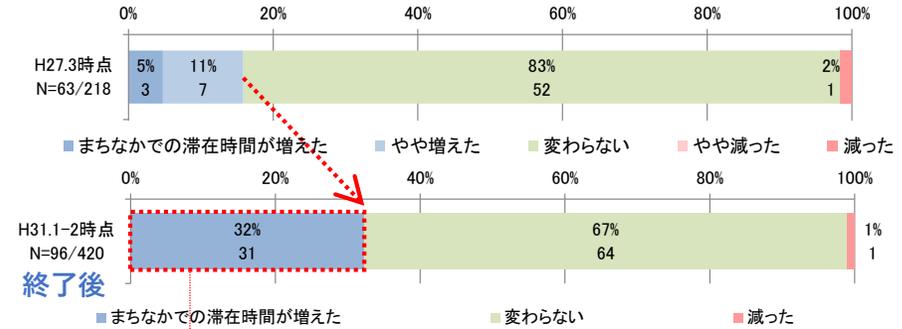
資料/周辺住民アンケート調査 (H27.3、H31.1-2)

まちなか居住の魅力



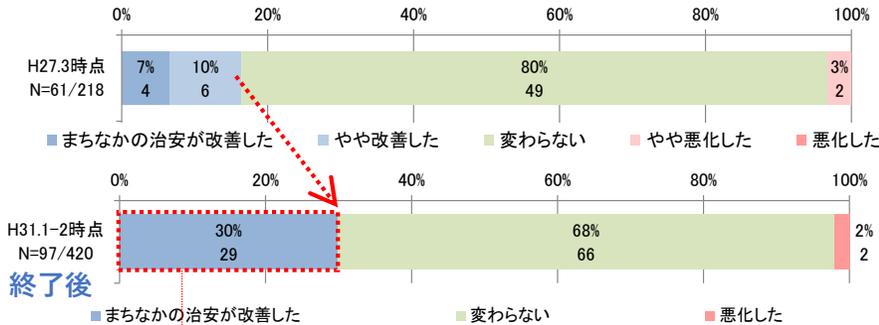
魅力の向上を感じた方は、6割に増加

まちなかでの滞在時間



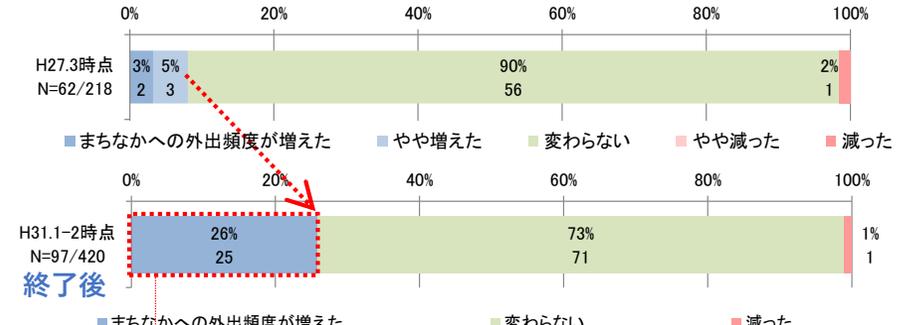
滞在時間が増えた方は、約3割に倍増

体感治安



治安の改善を感じた方は、3割に倍増

まちなかへの外出頻度



外出頻度が増えた方は、3倍超の約3割に増加

※少数点以下第1位を四捨五入しているため、構成比は100%にならない場合があります

◆社会実験の効果

結論1 | 賑わい再生の効果的・持続的な仕組みとして、効果がありました。

- ・周辺道路の人通りが3倍以上に増加しました。
- ・「飲食・物販イベント」「子ども向けイベント」が特に集客数が多く、このエリアの賑わいづくりに効果的だと考えられます。
- ・イベントを開催する一般の方々を増やすことで、運営団体の負担軽減につながり、持続的な賑わい再生に繋がると考えられます。

結論2 | 中心市街地の居住環境の改善に効果がありました。

- ・周辺住民アンケートのうち約5割が「ひろば・テラスができて非常に良かった」と回答されています。また、まちなか居住の魅力が向上したとする方が約6割いました。
- ・ひろば・テラスを重要とする理由は「子育て世代の住民のため」という回答が約7割で最多でした。
- ・ひろば・テラス周辺には緑地や街区公園が少ないことが影響していると推察されます。



社会実験について松山市HPで公開しています。

松山市HP「中心市街地賑わい再生社会実験事業」